

脳神経内科

スタッフ紹介



診療部長
おはら ともゆき
尾原 知行
教授 (H11)
脳卒中

かさい たかし 笠井 高士	准教授 (H10)	神経変性疾患	もりい みきこ 森井 美貴子	学内講師 (H19)	神経変性疾患
の と ゆういち 能登 祐一	講師 (H15)	神経筋疾患	あしだ しんじ 芦田 真士	助教 (H21)	神経免疫疾患
たなか あきひろ 田中 章浩	学内講師 (H16)	てんかん	おおや なこ 大矢 佳奈子	医員 (H24)	てんかん
いしりょう たろう 石井 亮太郎	講師 (H17)	頭痛	めんじょう かなこ 毛受 奏子	医員 (H28)	神経免疫疾患
こいずみ ひでたか 小泉 英貴	助教 (H16)	不随意運動	にしむら ゆうすけ 西村 優佑	医員 (H29)	神経免疫疾患
たなか いしろう 田中 瑛次郎	学内講師 (H18)	脳卒中			

私たちの業務

◆ 最新の知見を日常臨床へ

日進月歩で知られる医学の世界で特にめざましい進歩を続ける脳神経内科学分野、これにともない私たちの診療もまた、日々変化しています。当科では最新の知見を日常臨床へ迅速かつ慎重に反映させ、“世界トップレベルの医療を地域へ”をモットーに診断・治療を行っています。

◆ 多岐にわたる疾患に対応

脳神経内科が診療する疾患は、脳、脊髄、末梢神経、筋肉に至るまで多岐にわたります。物忘れ、歩行障害、麻痺や筋力低下などの運動障害、手足のしびれ、頭痛、めまい、視覚異常などの様々な症状の患者さんを診察し、原因疾患を特定していきます。

◆ 充実したCommon Diseaseへの対応

未曾有の「少子高齢化社会」に対応できる脳神経内科をモットーにCommon Diseaseである脳卒中、認知症、パーキンソン病、てんかんなどの診療へ迅速・的確・最善の治療を提供します。「よくある疾患のようだが気になるところがある。」「年に一度は専門医の意見を聞いてみよう。」等のお考えを持たれた場合、かかりつけ医に御相談の上、当科を紹介いただくようお願いします。

◆ 初診専門外来の開設

神経疾患全般の初診外来の他に、脳卒中、頭痛、神経免疫疾患、てんかんの初診専門外来を設置しています。

◆ 救急診療から慢性期診療まで

当科の疾患は脳卒中のような救急疾患から神経難病のように長期にわたって診療を要する疾患まで様々です。大学病院では24時間365日脳神経内科医が常駐しており、救急疾患に迅速に対応します。一方で慢性疾患では多職種で連携しながら、在宅療養の支援を行います。

外来診療担当医師予定表

令和8年4月1日現在

	月	火	水	木	金
初 診	石井 能登	芦田	尾原 大矢		笠井 田中(章)
再 診	田中(瑛)〈脳卒中〉 毛受／西村〈神経免疫〉	笠井〈神経変性〉 田中(章)〈てんかん〉	能登〈神経筋〉 小泉〈ボツリヌス治療〉	尾原〈脳卒中〉 森井〈神経変性〉	芦田〈神経免疫〉 石井〈頭痛〉

実際の診療

病名・病態	必要な診療	当科の対応
脳血管障害	神経放射線学的診断、頸動脈エコー 超急性期・急性期治療、慢性期治療	年間200例以上を救急対応し、脳神経外科と協力して、tPA 静注療法、血管内治療を含めた急性期治療、リハビリ部門と連携しリハビリを行っています。原因不明の脳梗塞の原因検索を様々な検査を駆使して詳細に行います。
末梢神経・筋疾患 ギランバレー症候群、慢性炎症性多発根神経炎、重症筋無力症、筋炎など	筋電図、神経・筋生検 遺伝子診断、免疫調整療法 血液浄化療法・クロブリン療法	電気生理検査などの検査、病態に応じた治療を行います。急性疾患やクレーゼ例では救急対応します。病態に応じてγグロブリン療法、血漿交換などによる治療も可能です。
認知症 アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、正常圧水頭症など	鑑別診断 神経放射線学的評価 高次脳機能評価 初期治療、地域との連携 新薬の治験	認知症年間300例の新患の診断治療を地域連携しながら行っています。アミロイドPETによるアルツハイマー病の早期診断および抗アミロイド治療（レカネマブ・ドナネマブ）の導入を行っています。
パーキンソン病および類縁疾患	神経放射線学的診断（MRI検査、核医学検査） 専門的治療	MRI検査、MIBG心筋シンチ、DATスキャンによる診断、薬物治療を行っています。L-DOPA持続皮下注・経腸投与を含めた新規治療を導入しています。
てんかん	神経放射線学的診断 脳波検査 専門的治療	てんかん専門医による専門的治療。 発作時の救急対応
運動ニューロン病 筋萎縮性側索硬化症、球脊髄性筋萎縮症など	筋電図、神経放射線学的診断 超音波検査 非侵襲的・侵襲的人工呼吸器の導入	鑑別診断、対症療法、地域医療との連携によるケア患者の希望に沿った人工呼吸管理の導入や胃瘻造設適宜、新しい治療も行っています。
頭痛 (脳脊髄液減少症を除く)	神経放射線学的検査 専門的アドバイス・治療	頭痛専門医による専門的診断と治療。
多発性硬化症・視神経脊髄炎	神経放射線学的検査 血清学的検査 電気生理学的検査、髄液検査 急性期治療、免疫調整療法	鑑別診断、急性期治療（ステロイドパルス療法、血漿交換など）を行っています。疾患修飾薬（ナタリズマブ、B細胞除去療法、IL-6阻害、補体阻害薬など）、免疫抑制剤による再発予防をしています。
ジストニア・不随意運動	ボツリヌス治療	上下肢の痙性、片側顔面および眼瞼けいれん、ジストニアなどに対する専門的ボツリヌス治療。
遺伝性神経疾患・希少難病 脊髄小脳変性症、シャルコー・マリー・トゥース病など	神経放射線学的検査 電気生理学検査、髄液検査 遺伝子検査	脊髄小脳変性症の鑑別診断・対症療法、ケアに対するアドバイス、シャルコー・マリー・トゥース病、CADASILの遺伝子診断・新しい治療を行っています。超希少疾患に対する診断および家族へのアドバイスも行っています。必要に応じて遺伝カウンセリングと連携して診療にあたります。
神経感染症 髄膜炎・脳炎、HAM、プリオン病、進行性多巣性白質脳症など	神経放射線学的検査・髄液検査 急性期治療 新薬による治療の試み	髄膜炎・脳炎に対する急性期治療。

2025年度診療実績

入院：平均在院日数 19.2日 新規入院患者数 448人

府立医大 脳神経内科 医局 TEL 075-251-5793・5794 FAX 075-211-8645
URL <http://www.neurology-kpum.com/>

脳神経内科外来 TEL 075-251-5013（外来時間帯）
救急対応 救 急 外 来 TEL 075-251-5645・5646